

北陸技術交流テクノフェアに参加しました！

10月22日（木）、定期考査③最終日午後、中学生希望者100名が昨年に続き「北陸技術交流テクノフェア2026」に参加しました。企業・大学・研究機関等が一堂に会する北陸最大級の総合展示会で、第37回を迎える今年は過去最大規模となる220を超える企業・団体のブースが立ち並びました。

平日開催ですが、テスト最終日ということもあり、福井商工会議所様のご厚意によりご招待いただきました。会場の福井県産業会館では、今年の特別企画テーマである「AIが動かす次世代ロボティクス&モビリティ」をはじめ、ヒューマノイドロボットの実演や持続可能な社会を目指す最新技術など、最先端の取り組みが数多く紹介されていました。生徒たちは関心のあるブースを訪れ、実際にデモンストレーションを見学したり、技術者の方に質問したりと積極的に参加しました。2年連続で参加した生徒も多く、展示を意欲的に楽しむ姿が印象的でした。

特に2年生は学年の半数以上が参加し、職場体験でお世話になる企業への挨拶や見学を通して、働くことや技術への興味を深めていました。また、国語の授業で扱った小説「ヒューマノイドロボット」と実際の技術展示をリンクさせながら見学するなど、教科の学びを現場で深める貴重な機会となりました。3年生も論文執筆につながる最新の資料や知見を企業からいただくなど、各自の課題意識を持って充実した時間を過ごしました。

教科書や教室の中だけでは完結しない「本物の技術」や「最前線で活躍する大人たちの情熱」に触れることは、中学生という柔軟な時期において、自身のキャリアや未来の可能性を広げる大きな後押しとなります。地域や社会の課題解決に向けた最先端の知識に直に触れたこの経験は、今後の学校生活や自発的な探究活動を一層豊かなものにしてくれると期待しています。

